

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社長濱興業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・職場のパワーハラスメント、セクシャルハラスメント、妊婦・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントを禁止することを就業規則に定めている。 ・従業員からの個別相談を受ける窓口を総務に置いている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・関係法令に基づいた特別教育・安全衛生教育の講習会(主に建設業労働災害防止協会熊本県支部主催)を全従業員が受講している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・就業規則に規定している賃金の条項に格差はなく、実務面においても公平な待遇となっている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・基本的には、「残業なし」の業務体制を執り、効率化による生産性の向上に取り組んでいる。 ・有給休暇の取得奨励を実施し、地域行事活動への参画などの環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・業務遂行に必要な免許、技能講習、特別教育など取得のための研修会・講習会への参加を全従業員に奨励し、対応している。 ・取得に要する費用は、全額会社が負担している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・各現場で作業に入る前に毎日危険予知の確認と健康の問いかけを行い、従業員の健康状態を把握している。 ・従業員の健康診断に要する費用は、会社が負担している。(オプションメニュー分は本人負担)			3					8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務遂行や現場の従業員に対し、差別的な待遇はない。 ・再雇用者の現場責任者への登用など、十分に活躍できる環境を整えている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●					3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●		・ICT搭載の建設機械を3台導入し、人手不足の解消、業務の効率化、品質の向上、生産性の向上を図っている。								8	9.1		11	12						
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社長濱興業

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 「予定」の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物収集運搬車の県登録車両として、工事現場で発生した廃棄物の分別処理と専門処理業者への運搬を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力は社屋太陽光パネルと蓄電池を備えつけており、発電量と使用量がわかる仕組みになっている。 ・ガソリン等は毎月の請求により現場毎の使用量を把握し、可能な限りアイドリングストップを推進し、削減を図っている。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・軽油の燃焼で発生する排気ガス中に含まれる窒素酸化物の排出量を簡易な計算式で算出している。 ・ディーゼルエンジン車にアドブルー(排気ガスをキレイにするための高品位尿素水)を使用し、窒素酸化物を化学反応で無害化している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・生物多様性に対する意識の向上に努め、生物多様性に配慮した計画・設計・施工に努めている。 ・生態系に及ぼす影響を考慮し、生物多様性の保全と持続可能な利用に配慮した資材等の調達に努めている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・自社で発生する廃棄物を分別収集し、専門処理業者に自主運搬して、再利用化・再資源化に繋いでいる。 ・自社の社屋は、フレカットを使用し、3Dに取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場事務所に隣接してレンタルのトイレを設け、汚水等の適切な処理に取り組んでいる。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・工事現場では、再生資源として再生クラッシュランや再生密粒度アスコンを使用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		太陽光パネルや蓄電池を設置し、再生可能エネルギーを供給し、社屋の節電に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

